

東日本大震災対策ニュース No.15 2011.3.30

福島医療生協

現地調査報告会を開催 津波・原発被災地域への医療支援に向けて

福島医療生協の事業所が加盟している全日本民主医療機関連合会(民医連)の被災者医療委員会が、3月21日福島に入り、南相馬市などを現地調査しました。これに同行した佐藤祐治先生が、撮影したビデオも使いながら報告しました。「見渡す限り破壊された光景を目の当たりにすると、私たちは『ガソリンが入るようになればもう大丈夫』などと言っている場合ではないと思った。できれば多くの職員に直接見てほしい」と呼びかけがありました。明日は福島県民医連として、わたり福祉会の職員も入って第2弾の現地調査を行い、介護を含めて支援のありかたの検討に役立てる予定です。地域の要求と実態に即した医療・介護面での支援をどのように進めることができるか、全国組織、自治体や医師会などと連携しながらの検討がこれから始まるうとしています。(参加職員は時間外にも関わらず70人を超えました)



平日は学校の調理室で作業しています



東高校避難所への炊き出し追加

当初30日までとしていましたが、被災者の方からの要望もあり、2日～5日の4日間を追加で実施することにしました。4日の体制が厳しいため、応援があると助かります。

昨日から、ペットボトルを利用した募金入れを作成中です。あづま支部からは、仕事でガソリンスタンドに並べない組合員にかわって3時間並んで入れたとの報告と合わせて、「街頭募金には現在2人参加、もっと増やしたい」とのFaxをいただきました。

街頭での募金よびかけ 参加者募集!

4月2日(土)午後1時30分～2時30分

街なか広場に集合

協力いただいた方には、福島医療生協のハブラシを配ります